



10分で読める

歴史人物伝2



鎌倉・戦国時代の

偉人に

監修 本郷和人

聞いてみよう!



岩崎書店

目次



平氏の全盛期を
築いた総大将

平清盛 004



はじめて武家政権を
つくった男

源頼朝 016



陸奥に散った
悲劇の若武者

源義経 030



モンゴルから日本を
守った若き執権

北条時宗 044



金閣をつくった
室町幕府3代将軍

足利義満 056



東山文化を象徴する
銀閣を築いた将軍

足利義政 068



日本美術界に光輝く
水墨画の巨匠

雪舟 080



日本にキリスト教を
伝えた宣教師

ザビエル 092



人生を全速力で
駆け抜けた戦国武将

織田信長 104



本能寺の変で
信長を討った武将

明智光秀 118



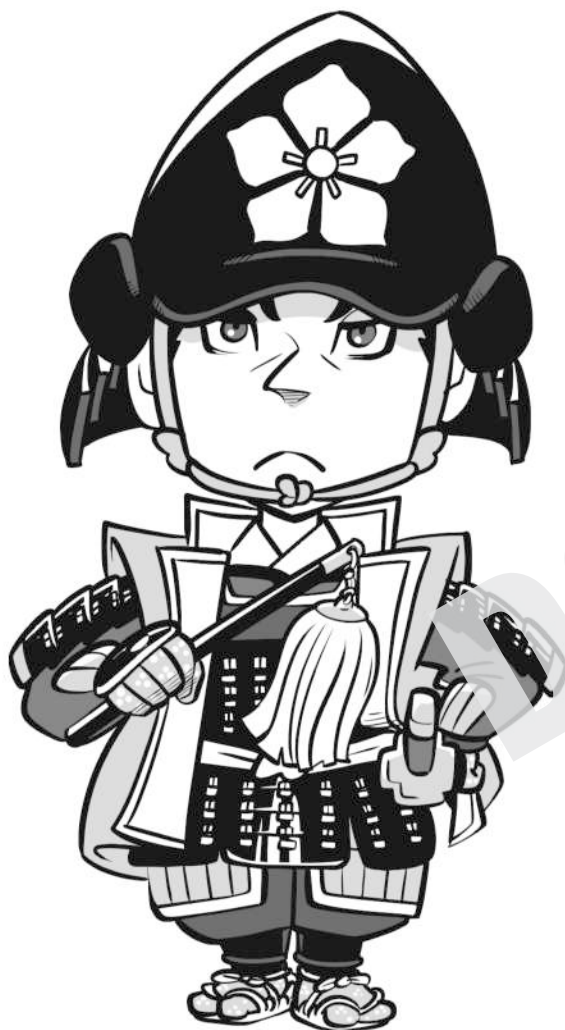
戦国武将で
いちばんの出世頭

豊臣秀吉 130

●人名が複数ある場合は、最も一般的な名前を掲載しています。
●人物の生没年は『日本史人物辞典』（山川出版社）などを参考にしています。
●年齢は数え年で記しています。

ほんのうじ へん のぶなが う ぶしょう
本能寺の変で信長を討った武将

明智光秀



せいねん がっげ
生年月日

きょうろく げんねん
享禄元年

(西暦1528年) (異説あり)

しゅうしん ち
出身地

ぎふ けん
岐阜県

ふ ぼ
父母

ちち あけ ち あつな
父：明智光綱 (異説あり)

はは まき
母：お牧の方

1567年

織田信長に仕える

1571年

坂本城の城主になる

1580年

丹波を与えられる

1582年

本能寺の変を起こし、
信長を討つ。その後、
小来栖にて襲撃され、
自害

やま ざき たたか みつ ひで
山崎の戦いでやぶれた光秀

「むほん人」のレッテルを押される



のちの世で「むほん人」と呼ばれているのですが……？



うむむ。まあ、仕方あるまい。なにせ、わしが「本能寺の変」を起こし、主君である信長公を討ったのは事実だからな。しかし、キミ。「歴史は勝者によって語られる」ということをご存じかな？



それは、どういことでしょうか？



「歴史とは、勝者が書いた、勝者のための物語である」ということじゃよ。勝者とは、歴史の表舞台に立っている人のこと。わしが生きた時代でいえば、豊臣秀吉や徳川家康なんかがそうじゃな。



じゃあ、光秀さんは“歴史の敗者”ということですか？



さよう。わしは信長公を討った後、山崎の戦いで秀吉にやぶれ、その後、逃げる途中で命を落とした。だから、歴史を自分の都合のいいように書き残すことができなかったのだ。わしの生涯が、なぜに包まれている部分が多いのも、そんなことが原因の一つであろうな。